

平成 29 年 4 月 19 日発行

鳥取県埋蔵文化財センター 青谷調査室

青谷かみじち遺跡

NEWS



発行：鳥取県埋蔵文化財センター
青谷調査室

〒 689-0952
鳥取市青谷町青谷 667
鳥取市青谷町総合支所 2F
電話 0857-85-5011

Vol.

4

2017 Spring



私たちは、国史跡青谷上寺地遺跡の発掘調査や出土品の研究、史跡を整備・活用する仕事をしています。春から新しい職員が加わりました。どうぞよろしくお祈いします。

こんにちは！青谷調査室です



◆オープニングアクト
ミュージカル「真名井の水は天の水」
自然の恵みをテーマにしたミュージカルを、妻木晩田遺跡のふもとと淀江町を活動の拠点とするミュージカル劇団ゆめが熟演！



◆出演者
パネル討論では出演者 5 名が弥生時代の衣装を身まとして登場。



◆ロビー展示
むきばんだ史跡公園から運ばれてきた「倭人たちの食材」を会場ロビーに展示。



◆パネル討論のようす

青谷調査室とむきばんだ史跡公園では、シンポジウムのアフターイベントを計画中です。詳細が決まりましたら改めてお知らせします。お楽しみに！

第一回とつとり弥生の王国シンポジウム「倭人の食卓 青谷上寺地遺跡と鳥取の食文化」を三月一八日(土)、県民ふれあい会館(鳥取市)で開催。当日は二〇〇人の参加者があり、身近な「食」の話題で大いに盛り上がりました。青谷上寺地遺跡の出土品をもとに、食生活学、考古学、民俗学の専門家が話題を提供。その後のパネル討論では、弥生人の食生活を通して、食の重要性、和食の原点となった食文化についてさまざまな意見を交換しました。

郷土料理にもスポット当て、「和食」のルーツを探るシンポジウムを開催
「弥生の食」に迫る
弥生人の食事「倭食」が「和食」の原点だった！



平成二八年九月に遺跡を訪れた青谷中学校一年生

いよいよ調査は核心へ
- 青谷上寺地遺跡の中心部を探る -

今年から続く青谷上寺地遺跡の中心部を探る発掘調査。6月頃に調査を再開する予定です。昨年の調査では「熱を受けて溶けたガラス粒のかたまり」が出土しました。青谷上寺地遺跡では初めての発見です。まだガラスそのものを作ることができなかった弥生人は、手に入れたガラスを溶かして再加工し、ガラス玉を作っていたようです。

今年の調査では、ガラス玉づくりの工房跡が見つかることを期待しています。青谷上寺地遺跡の特徴である『ものづくり』の核心に迫る調査になるよう頑張ります。

あおや発掘通信